

こういき

2012 vol.

17

02… **安心な医療をより速く!**

緊急搬送用ドクターヘリの運行間近

04… 非常持ち出し品をもう一度チェック

04… 消防署が移転を検討します

05… 自宅に付けましたか? 住宅用火災警報器

06… 清掃事業所とは?

08… **一日も早い復興を目指して**

がれき処理の受け入れ

09… 二戸地区広域行政事務組合に寄せて

10… データ&グラフ [平成22年度決算のお知らせ]





救急搬送で活躍する救急車。ドクターヘリを利用せず、救急車での搬送が最善であることも多い。

安心な医療を

より速く！

緊急搬送用ドクターヘリの運航間近



防災ヘリなどに比べて小型なドクターヘリ

情報提供を受け、適切な出動を判断する消防本部

適切な救急医療を迅速に提供するドクターヘリ

ドクターヘリとは救急医療に必要な医療機器や医薬品を装備し、救急医療の専門医と看護師が同乗したヘリコプターのことで、「救急医療用ヘリコプター」とも言います。

岩手県では平成24年度から導入し、4月から約1カ月間、県内の各消防本部と連携で運航訓練を行った上で、5月上旬から本格的な運航を開始することになりました。岩手県におけるドクターヘリの導入は、東北では福島県、青森県、秋田県に次いで4番目になります。

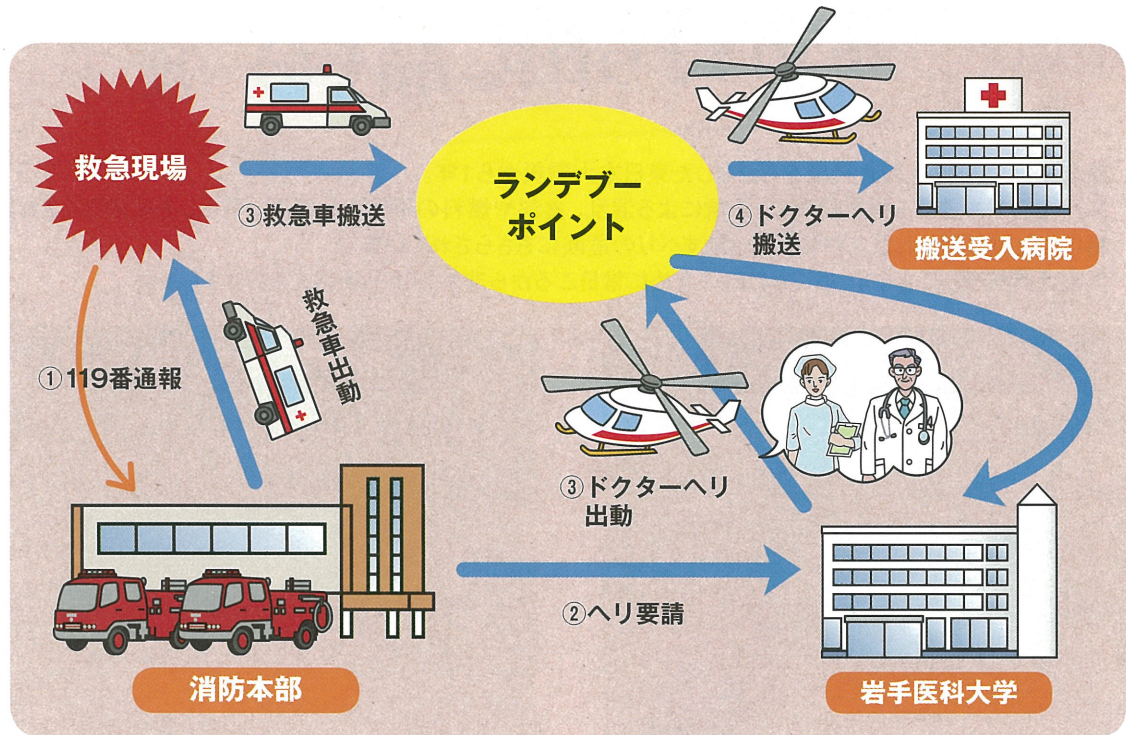
空路を活用するドクターヘリは、飛行条件が整えば、交通事情に左右されることなく最短距離で救急現場に向かうことができます。つまり重症患者や急病人が出た場合、より速く医師による適切な治療を受けることが可能になります。

交通事故や飛行機事故、山岳の遭難事故、あるいは地震や洪水などの自然災害が発生した場合も、速やかに傷病者のいる現場に出動し、到着と同時に高度な医療システムを開始します。

さらにドクターヘリは県の防災ヘリコプターなどに比較すると小型ですから、狭い場所でも離発着できる利点があ



グラウンドなどに降りる場合、消防車が散水する



ります。二戸地区は山間部が多く、またエリアが広範にわたっているため、これまで救急患者を地域の基幹病院である二戸病院や盛岡市の高度医療機関に搬送するのに時間がかかりました。効率的かつ迅速に必要な医療を提供するドクターヘリは、当地区の救急事業に大きな効果が期待されています。

出動要請は消防本部から

では、ドクターヘリは具体的にどのように運用されるのでしょうか。

例えば、「急患です。すぐ来てください」と119番通報を受けた消防署では、患者の状態や場所を確認し、救急車を現場に向かわせる一方、ドクターヘリが必要だと判断した場合、すぐにホットラインで岩手医科大学が管理するドクターヘリ運航管理センター（矢巾町）に活動を依頼します。同センターには高度救命センターの医師と看護師が常駐しており、要請にこたえられる態勢を整えています。

連絡を受けた医師は看護師とともにドクターヘリに搭乗し、消防署の救急車が患者を搬送してくる、ランデブーポイント（離発着場）に向かいます。そこで救急車の患者はドクターヘリに引き継がれ、機内において必要な治療を行うつつ、医療機関やその他の場所に搬送されるという仕組みです。

このような傷病者の緊急搬送のほかにも、ドクターヘリは病院間搬送にも活用されますが、出動要請は常に消防署が行うことになっており、ドクターヘリの運航には、消防署、医師、医療機関との緊密な連携プレーが求められます。

二戸地区では30カ所のランデブーポイントを選定

5月上旬の運航開始を目指して現在、県内各地で患者を引き継ぐランデブーポイントの選定が進められています。二戸地区では学校の校庭、野球場、公園などを中心に、二戸市11カ所、一戸町6カ所、

軽米町7カ所、九戸村6カ所の計30カ所が候補地に挙がっています。

消防署では運航管理センターにドクターヘリの出動を要請すると同時に、現場近くのランデブーポイントに消防車を出動させ、スムーズな離発着ができるよう地面に散水します。

「急なことなので、周辺住民の皆さんは驚かれるかもしれませんが、野球の試合やイベントなどを行っている場合は、急ぎよ中止していただくこともありますし、学校では授業中のこともあると思います。騒音等、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、人命に関わることなので、ぜひ皆さんにはご理解いただき、ご協力をお願いします」

ドクターヘリの運航を間近に控え、消防本部では住民の皆さんに協力を呼びかけています。

備えあれば
憂いなし!

非常持ち出し品をもう一度チェック

東北地方に未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から1年。
二戸地区でも震度5強を観測し、停電による混乱、食料や燃料の不足など不便な暮らしを余儀なくされました。
特に山と川に囲まれた二戸地区は、地すべりの危険にもさらされています。
災害は突然やってきます。もしもの時のために常日ごろから非常持出品を備えておきましょう。

非常持ち出し品

- 携帯用飲料水
- 食品 (カップめん、缶詰、ビスケットなど)
- 貴重品 (通帳、印鑑、現金など)
- 救急用品
- ヘルメット、防災ずきん
- 軍手
- 懐中電灯
- 衣類、下着、毛布
- 携帯ラジオ、予備電池
- マッチ、ろうそく (ビニールでくるむ)
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- 筆記用具



非常備蓄品 (1人分)

- 飲料水 9リットル (3ℓ×3日分)
- ごはん (アルファ米) 4~5食分
- ビスケット 1~2箱
- 板チョコ 2~3枚
- 乾パン 1~2缶
- 下着 2~3組
- 衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど



現在、二戸市内の中心部にある二戸消防署と二戸消防本部の庁舎を、金田一地区へ移転するため、具体的な検討に入ることとなりました。

現在の庁舎は昭和48年3月に建設された建物で、老朽化が著しく、大型車両の導入や資材・機材の増加などによって手狭になっていました。このような狭隘な施設環境のため、通信指令システムの整備が遅れているなど、二戸消防署・二戸消防本部の災害応急対策の拠点としての機能を十分に発揮しているとは言えない現状です。

また、現在、消防救急無線はアナログ方式で行われていますが、平成28年5月を期限としてデジタル方式に移行することが決まっております。デジタル化への対応も求められています。

このため、新庁舎の整備方法と消防行政

新庁舎建設の基本構想を策定

消防署移転を検討します

平成27年度末までに
金田一地区へ



現在の二戸消防本部の庁舎

自宅につけましたか？

住宅用火災警報器



◆二戸地区の設置率は約70%

◆つけておいて良かった！

平成23年6月1日からすべての住宅について、寝室等に住宅用火災警報器の設置が義務づけられました。あなたの家では、きちんとつけていますか？

平成23年6月時点での普及率は、全国は71・1%、岩手県は61%、二戸地区は70・7%となっています。

二戸消防本部では全戸での設置を目指し、消防団、婦人防火クラブ、自主防災組織などと連携して普及・啓発活動を行っていますが、大切なのは一人ひとりの防災意識です。

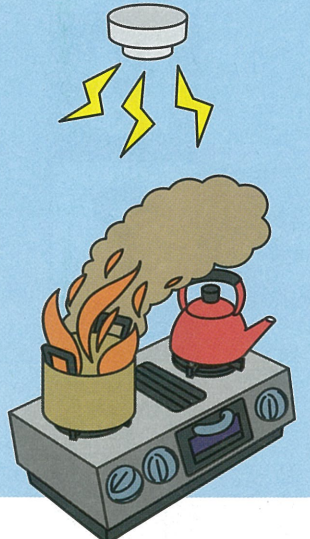
住宅火災による死亡原因の約6割は「逃げ遅れ」によるものです。警報器によって早く発見できれば、初期消火や避難が素早くできるので、火災による被害を最小限に抑えることができます。実際に住宅火災100件当たりの死者数を比較したデータでは、警報器が設置されている場合、死亡率は約3分の1に減少しています。

最新の住宅用火災警報器

各メーカーからさまざまな種類が販売されている警報器の中で、最近では多機能を併せ持つものも出ています。その一つが連動タイプの警報器で、一つの警報器が火災を感知すると、設置してあるすべての警報器が無線や有線で連動し、一斉に火災を知らせるといふのです。

この連動タイプを使うと、例えば台所で火災が発生した場合もすべての感知器が連動して火災を知らせてくれるので、より早い避難ができます。

また、目や耳の不自由な方には、光と音で知らせる補助警報装置の増設をおすすめします。



住宅用火災警報器は火災による熱や煙をいち早く感知し、火災の発生を警報音や音声で知らせてくれます。

二戸管内でも「設置しておいて良かった」という事例がいくつか寄せられています。

例えば、あるお宅では神棚を拝礼するため冷蔵庫の上にもうそくをつけておきました。ところがそのまま外出してしまい、その間にうそくが倒れて、冷蔵庫の上が燃え上がってしまったのです。煙が出るとすぐに台所に設置してあった警報器が鳴り出しました。2階にいた息子さんがその音に気づき、流しの水を掛けて事なきを得たということです。

火災はあなたの大切なものを一瞬のうちに奪ってしまいます。「うちはまだつけていない」という方は、設置をお急ぎください。

についての見直しが必要なことから、「二戸消防署・二戸消防本部新庁舎建設基本構想」を策定し、庁舎の移転新築について具体的な検討を進めることとしました。

平成27年度の竣工を目指す

基本構想によると、新しく建設される庁舎は二戸消防本部を併設し、あらゆる災害時の緊急事態に備えた消防施設を整備するとともに、緊急消防援助隊の受け入れができるスペースも確保し、二戸広域・二戸市の災害応急対策の拠点としての機能を適切に発揮できる庁舎とします。

移転用地は二戸市金田一の二戸警察署向かいで、敷地面積は9211平方メートル。庁舎は鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積は約2000平方メートルを想定しています。1階に消防署、2階に消防本部が入り、新たに消防団員の防災教育や救急講習を行う設備、トレーニング室などのほか、防火水槽、訓練塔も整備する予定です。

懸案だった通信指令システムもあわせて導入する計画で、各消防署との連絡網、人員配置などの面で効率が上ががり、救急・災害の出勤態勢がより充実します。

今後のスケジュールは基本構想をもとに24年度に基本設計を実施し、25年度の地質調査と実施設計を経て26年度から着工、27年度末の完成を目指しています。

わたしたちの暮らしとともに

清掃事業所とは？

ごみ処理やし尿処理、リサイクルの推進などを担う清掃事業所は、私たちの暮らしに密着しています。二戸地区衛生センターと二戸地区クリーンセンターの2施設が、自然環境に配慮した衛生的で快適な暮らしを支えています。

二戸地区衛生センター
二戸地区クリーンセンター

ごみの攪拌を操作



資源ごみはリサイクルへ



アルミやスチールは種類別にパレットへ





攪拌されたあと焼却炉に送られる

二戸地区クリーンセンター

二戸市石切所字二枚平19-1 ☎0195-25-56600

二戸地区クリーンセンターは平成7年7月の完成で、二戸地区の4市町村から出たごみを処理しています。

一戸町との境界近く、小高い丘に建つセンターの広さは8000平方メートル。ごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設からなり、ごみ焼却施設では1日の処理量が約90トン（24時間稼働）の准連続燃焼式焼却炉で、自動処理されています。

当クリーンセンターの特徴は、完全燃焼の度合いがより高いとされる「流動床式焼却炉」を導入している点で、投入されたごみは、またたく間に焼却が行われることとなります。

ごみが燃焼する際に生じる高温の排ガスは、ガス冷却室と空気余熱器で温度を下げたのち、有害ガス除去装置と、ろ過式集じん器で有害成分と微細なばいじんを取り除き、煙突から排出しています。取

り除かれたばいじんは、セメントで固めています。

一連の工程は、すべての機器の運転状況を示す計器類が集められた中央制御室で集中監視しています。職員による厳しい管理のもと、施設内でごみを完全無公害化するシステムが整っています。

粗大ごみ処理施設では30トン（5時間稼働）の処理が可能です。大型家電製品と不燃ごみをあわせて破砕処理が可能であり、選別ラインでは鉄とアルミニウムを回収し、貴重な資源としてリサイクルされます。

二戸地区衛生センター

二戸市下斗米字細越20-1 ☎0195-26-26551

二戸地区衛生センターは、高度処理設備を備えた施設として、平成9年4月から運転を開始しました。家庭から出るし尿や浄化槽汚泥の処理事業を担い、皆さんの快適な生活を支えています。

センターの施設は地下1階、地上2階の規模で、建物の面積は約1400平方メートル。一般的な、し尿処理施

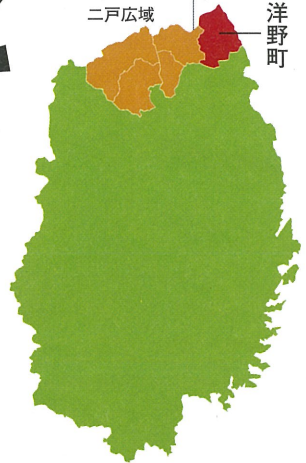
設と比べるとコンパクトですが、処理能力は1日112キロリットルと、4市町村のし尿・浄化槽汚泥処理に十分対応できる規模です。

近年は公共下水道への加入や合併浄化槽の設置により、地区内のし尿処理量は年々減少していますが、浄化槽汚泥処理量は横ばいから少し上昇しています。

365日24時間休みのない運転。施設を維持するための適正な管理に目を光らせ、何より地域の環境を最優先するために職員は見回りを徹底し、夜間も警備会社と連携して、トラブルなどにも迅速に対応できる体制を整えています。



話し手 二戸地区クリーンセンター 仁昌寺主任技師



一日も早い復興を目指して

焼却可能ながれきを洋野町から

平成23年3月11日の東日本大震災によって、岩手県沿岸部には膨大な「災害廃棄物」、いわゆるがれきが発生しました。その総量は推計で435万トン、実に10年分に

達します。

がれき処理は沿岸部のみならず岩手県全体の復興に向け、大きな課題の一つです。

県では緊急的に仮設焼却炉をつくり、24時間連続運転を行っています。処理能力はまだ不足しています。

県内での処理済み量は、平成24年2月時点で8%にとどまっています。

国の広域処理の方針を受けて、達増岩手県知事は2月定例県議会において「現状のままでは3年以内の処理は厳しい状況で、広域処理の一層の拡大に取り組む必要がある」との考えを示しました。

県では、がれき総量

435万トンの中でも焼却可能な57万トンを広域処理、125万トンを県内処理する方針です。

このうち、内陸で処理するのは二戸市から一関市までの10カ所の焼却施設で、二戸地区クリーンセンターでは洋野町から日量平均2トンのがれきを受け入れます。すべて沿岸部の仮置き場で選別を経た可燃物です。

本年3月22日から受け入れを開始しており、通常のごみ焼却業務と並行して処理を進めています。

なお、放射性物質等の安全性に対する検査結果は、ホームページ等で適宜公表してまいります。



二戸地区クリーンセンターの焼却炉

分別前の洋野町のがれき。種類ごとに分別され、焼却可能ながれきのみが運ばれてくる



二戸地区広域行政事務組合に寄せて



自主防災組織の一員として 地域の安全を守っていききたい

二戸市消防団 内田美央子

女性消防団員を増やしたいと知り合いから声をかけていただき、地域消防団の一つである二戸市消防団に平成16年7月に入りました。消防は市民の皆さんの生命と財産を災害から守ってくれる尊い仕事。自分のできる範囲で少しでも協力できればと思います。実際には現場での活動はなかなかできなくて、5月の消防演習、10月の防災訓練、お正月の出初め式などの際に進行役を担当しています。

二戸地区広域行政事務組合の消防署の方々には、演習や訓練などをご指導いただいていますし、ひとたび災害が起きれば第一線に立って危険を顧みず頑張ってくださいます。私たち地域消防団も連携・協力をより密にして、一緒に地域の安全を守っていききたいと思っています。

消防のみならず、広域行政事務組合の仕事は私たちの暮らしの中で「なくてはならない」「生活の大事なところ」を担っています。これからも住民目線を忘れず、生活に密着したところで活躍してほしいですね。



医療・介護のさまざまな 分野で深いつながり

二戸医師会事務局 國分泰子

医師会の仕事も二戸市・一戸町・軽米町・九戸村の4市町村にわたり、二戸地区広域行政事務組合とはさまざまな場面につながっています。最もつながりが深いのは介護保険事業で、介護認定に関わる認定審査員に医師会の先生方が参加していることです。

この介護認定審査会の開催については、広域行政事務組合でお忙しい先生方に配慮して、各地区で開催できるようにして下さったので本当に助かっています。

高齢化率が年々高くなっている今、医療・保健・福祉のあらゆる場面で「広域」での連携が求められており、広域行政事務組合の果たす役割は、今後ますます大きくなっていくのではないのでしょうか。

住民の一人としては、戸別に回ってくださるごみ収集・処理に感謝しています。地区によってはごみ集積所が設けられないなどの事情もあり、これも市民の声に耳を傾けていただいているきめ細かな対応の一つかなと思います。



二戸地区の特性を生かした 魅力ある地域づくりを活発に

NPOカシオペア連邦

地域づくりサポーターズ理事 千葉千賀

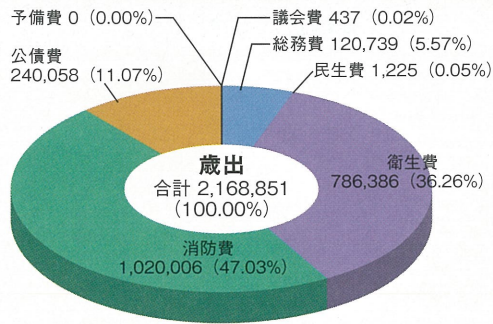
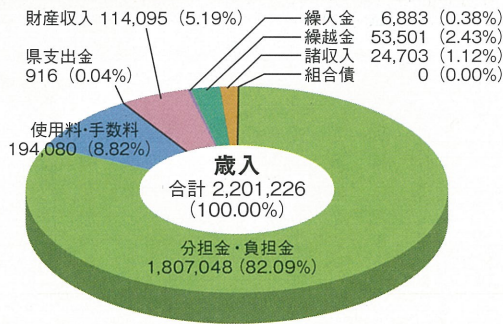
私たちサポーターズは二戸広域の魅力を高めるため、また住みよい地域環境づくりに寄与することを目的に活動しています。平成13年度より県と市町村からの補助で、カシオペア連邦地域づくり助成事業を行ってきましたが、広域行政事務組合からは平成21年度から23年度まで補助いただき、おかげさまで途切れそうだった支援活動を継続することができました。単独の市町村で活動するのではなく、広域的なつながりができたことが事業の一番大きな成果だと思います。

地域内の活動団体が一堂に会する6月の公開審査、11月の中間発表会、3月の最終報告会、お互いを知る絶好の機会でした。市町村の枠を越え連携して一緒に活動することで、お互いに足りないものをカバーし合い、それぞれの特色を生かしていける。それができるのが、広域の特性だと思っております。この11年間、多くの団体と関わってきました。助成事業がなくなっても年に1度は集まる機会を設け、みんなで地元の良さを学びながらカシオペア連邦をより輝かせていきたいと思っています。



平成22年度決算 (単位：千円、%)

一般会計



歳出の性質別内訳

※子ども手当含む

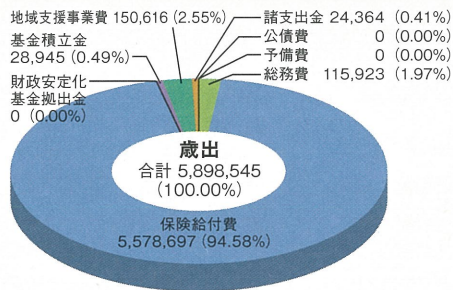
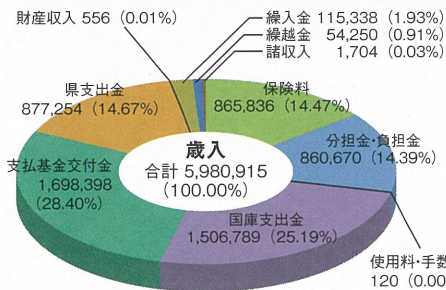
人件費※	1,030,363	47.51
物件費	763,224	35.19
維持補修費	37,925	1.75
扶助費	0	0.00
補助費	84,351	3.89
普通建設事業費	12,874	0.59
公債費	240,058	11.07
積立金	56	0.00
合計	2,168,851	100.00

議会費…議会関係の経費
 総務費…事務局関係の経費
 民生費…介護サービス利用者対策の経費
 衛生費…し尿及びゴミ処理の経費
 消防費…消防及び救急業務の経費
 公債費…組合費で借りたお金の返済費

市町村負担金

二戸市	859,061
一戸町	399,128
軽米町	313,955
九戸村	234,904
合計	1,807,048

介護保険特別会計

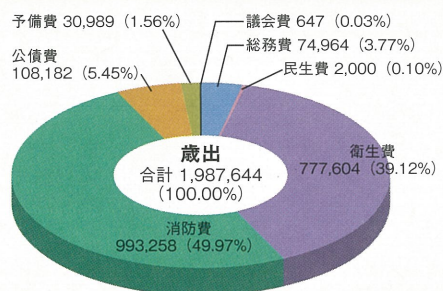
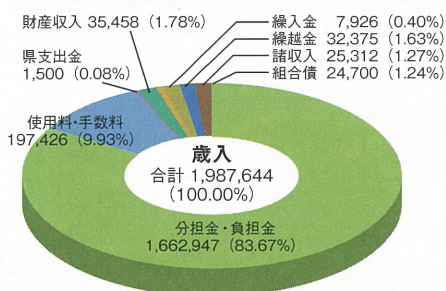


市町村負担金

二戸市	410,158
一戸町	204,305
軽米町	142,240
九戸村	103,967
合計	860,670

平成23年度補正後予算 (単位：千円、%)

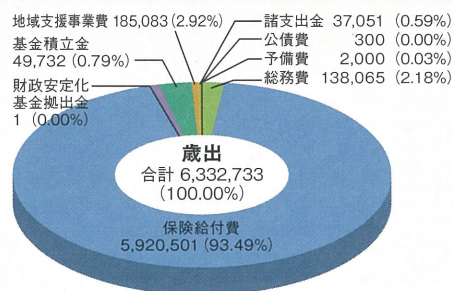
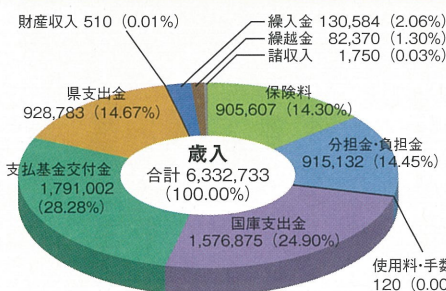
一般会計



市町村負担金

二戸市	782,966
一戸町	375,388
軽米町	284,688
九戸村	219,905
合計	1,662,947

介護保険特別会計

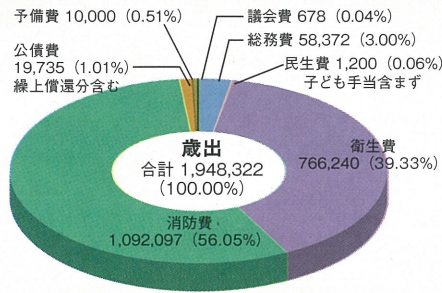
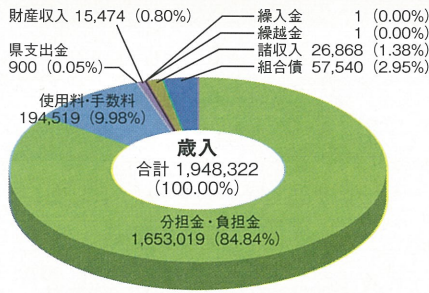


市町村負担金

二戸市	441,246
一戸町	219,883
軽米町	149,905
九戸村	104,098
合計	915,132

平成24年度当初予算 (単位：千円、%)

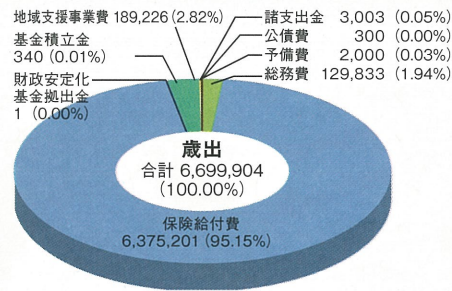
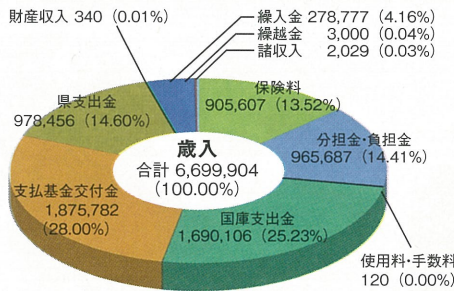
一般会計



市町村負担金

二戸市	795,483
一戸町	358,547
軽米町	281,086
九戸村	217,903
合計	1,653,019

介護保険特別会計



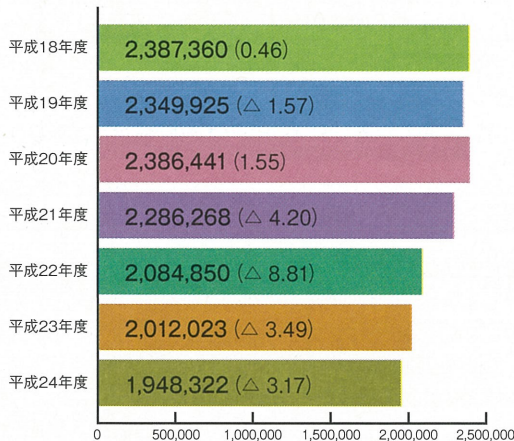
市町村負担金

二戸市	466,560
一戸町	231,635
軽米町	157,770
九戸村	109,722
合計	965,687

当初予算の推移

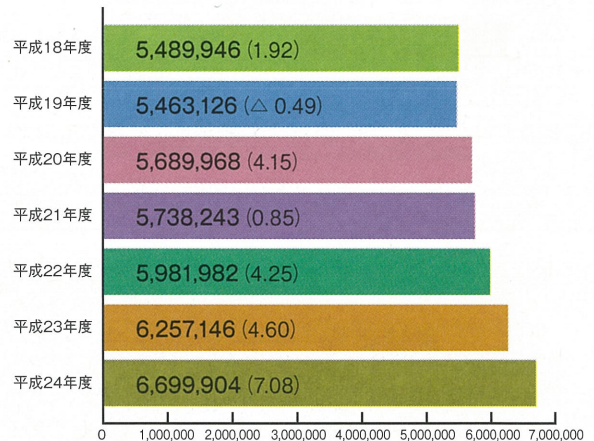
一般会計

()内は前年度対比



介護保険特別会計

()内は前年度対比



人口と世帯数 (平成24年3月1日現在)

広域の人口・・・61,219人 (62,132人)

広域の世帯数・・・23,423世帯 (23,401世帯)

二戸市	
人口	29,966人 (30,377人)
世帯数	11,697世帯 (11,661世帯)

一戸町	
人口	14,260人 (14,521人)
世帯数	5,776世帯 (5,802世帯)

軽米町	
人口	10,477人 (10,597人)
世帯数	3,773世帯 (3,750世帯)

九戸村	
人口	6,516人 (6,637人)
世帯数	2,177世帯 (2,188世帯)

()内は平成23年3月1日現在

非常時への備え 災害伝言ダイヤル

171

災害伝言ダイヤルとは？

災害伝言ダイヤルは、地震や津波、噴火などの災害の発生により、被災地への通信がつながりにくいときのための「声の伝言板」です。

何ができるの？

電話がつながりにくいときに171をコールすると、メッセージを残すことができ、また、そのメッセージを再生することができます。

使い方は？



伝言を録音する (安否をお知らせする)

171

1

電話番号※ (市外局番から) 入力

伝言を録音

※被災地の人・・・自宅/連絡を取りたい被災地の人の番号

伝言を再生する (メッセージを聞く)

171

2

電話番号※ (市外局番から) 入力

再生

被災地外の人・・・連絡を取りたい被災地の人の番号

いざというときのために、ふだんから家族で、災害時の連絡方法を話し合っておきましょう。

し尿処理収集委託業者

- (有) 県北衛生社 ☎0195-23-3091 二戸市(旧福岡町)
- (有) 一戸衛生社 ☎0195-32-2560 二戸市(旧金田村、旧浄法寺町)、一戸町
- (有) 軽米清運 ☎0195-46-2450 軽米町、九戸村(江刺家地区)
- (有) 軽米清掃社 ☎0195-46-4182 軽米町、九戸村(江刺家地区)
- 九戸衛生社 ☎0195-42-2091 九戸村(江刺家地区除く)

※お盆前と年末には、依頼が集中します。余裕をもってご依頼ください。 ※便槽の周りにものを置かない、冬季間は除雪するなどのご協力をお願いします。



二戸地区広域行政事務組合

〒028-6102 岩手県二戸市下斗米字細越20-1
TEL 0195-23-7772 FAX 0195-23-7984
<http://www.cassiopeia.or.jp>